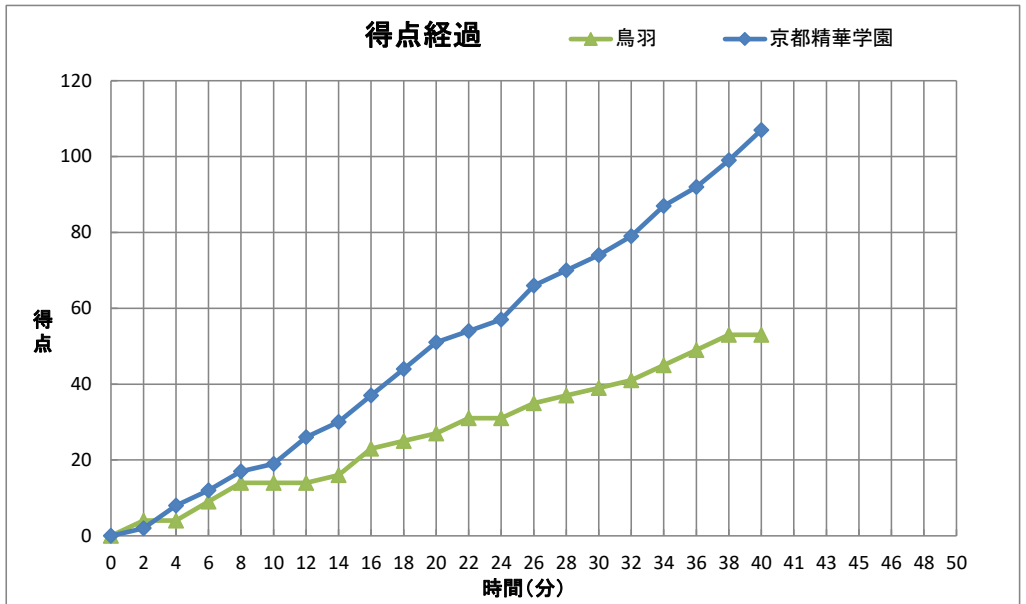




第43回京都府高等学校選手権大会 兼
第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

男子		11月4日		12:10 開始													
決勝リーグ		島津アリーナ京都		B													
鳥羽	53	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>32</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>33</td></tr> </table>	14	1st	19	13	2nd	32	12	3rd	23	14	4th	33	107	◎ 京都精華学園	
14	1st	19															
13	2nd	32															
12	3rd	23															
14	4th	33															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 0	能勢 陽	0	0	0	0	5	1	金井 奏太	9	3	0	0	1				
2	坂本 立輝	0	0	0	0	2	3	矢野 陽向	7	0	3	1	2				
10	山村 神楽	0	0	0	0	1	* 6	上野 叶翔	6	0	3	0	3				
11	杉村 虹	0	0	0	0	0	* 13	新開 温矢	8	0	2	4	3				
13	清沢 光聖	2	0	1	0	0	14	西村 晴太	9	3	0	0	3				
* 21	鬼塚 彩叶	7	0	2	3	1	16	西本 圭汰	0	0	0	0	0				
* 23	河内パー 瀬那	2	0	1	0	5	* 17	藤内 翔真	8	0	4	0	0				
27	笠原 桂斗	11	1	3	2	0	19	善山 堯太	8	0	3	2	0				
29	福島 耕平	3	0	1	1	0	21	キモナ ディエウ	26	0	11	4	2				
34	高久 凌聖	6	0	3	0	4	24	西村 康太郎	0	0	0	0	0				
* 36	奥村 将吾	17	1	7	0	1	27	竹村 寅治郎	4	0	2	0	0				
38	福瀧 光	1	0	0	1	0	30	中西 飛翔	0	0	0	0	0				
* 43	上田 雄介	2	0	1	0	0	* 32	東郷 然	10	2	2	0	0				
64	常谷 孔真	2	0	1	0	2	34	前 和成	0	0	0	0	0				
89	八木 和樹	0	0	0	0	1	* 77	ソロモン レイモンド	12	0	4	4	1				
コーチ	福嶋 一夫					0	コーチ	山崎 翔一朗					0				
Aコーチ	島崎 道朗						Aコーチ	奥田 翔									
合計		53	2	20	7	22	合計		107	8	34	15	15				
主審: 赤井 正史 副審: 中村 公彦 副審: 杉山 栄規																	



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:13	18:06	24:27	:	:	:	:	:
TeamB	16:37	:	36:55	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 ウインターカップ京都府予選男子決勝リーグ第二試合鳥羽対京都精華の対戦。
 第1Q、互いにマンツーマンでゲームがスタート。精華高校32東郷が先制点を上げると鳥羽高校は23河内が返す。高さに勝る京都精華はディフェンスリバウンドからテンポ良く得点を重ねるのに対して、鳥羽高校は36奥村のアウトサイドシュートで対抗する。一進一退の攻防が続き19-14で京都精華がリードして1Q終了。
 第2Q、出だしは京都精華17藤内のジャンプシュート、21キモナの高さを活かした得点でリードを広げる。対する鳥羽は34高久、21鬼塚の果敢なドライブで加点するが、京都精華1金井の3本の3Pでリードを守る。流れを変えたい鳥羽だが京都精華の高さ、速攻をなかなか止めることが出来ず点差を広げられてしまう。51対27と京都精華がリードして後半へ。
 第3Q、鳥羽高校36奥村の連続得点でスタートするが、京都精華は77レイモンドと32東郷の得点で追従を許さない。流れを変えたい鳥羽だがインサイドとアウトサイドバランスよく得点を重ねていく京都精華をなかなか止める事が出来ず、残り時間5分で点差を30点とされてしまう。鳥羽36奥村29福島のドライブで点差を広げさせず74-39で京都製菓がリードし最終Qへ。
 第4Q、鳥羽は13清沢36奥村などの速攻で得点を重ねていくが、京都精華も14西村の3Pや21キモナのインサイドで反撃を許さない。お互いたくさんのメンバーを使い戦ったが、高さやアウトサイドシュートの精度で優位に立った京都精華が107-53で勝利した。

